

TOYOTA MARINE Ocean Style

Mar 2024 Vol.16

Proposed
the Play of Ocean



トヨタホームの叡智を結集させた、都市型邸宅。

土地の選定からこだわり、その土地の性質を見極め、
既成概念にとらわれることなく、個性を追求する。
「ただ一度しか出会えないような邸宅をつくる」
この思想を基に、一邸一邸、独創的なプランニングを創造。

高水準の鉄骨構造体、85%を自社工場で組み立てるトヨタ生産方式の高品質な建物、
そして、まちづくりまでを妥協することなくこだわり尽くした、至高の邸宅をここに。

トヨタホームの最高峰・都市型新築分譲邸宅
「TOYOTA HOME EST」。



TOYOTAHOME EST





TOYOTA MARINE
Ocean Style

Proposed the Play of Ocean

	フラッグシップモデルがさらなる進化を遂げて登場 2024年春、LEXUS YACHT「LY680」発表	08
	「LY680」製造にあたり、両社が抱く想いとは トヨタ自動車 事業開発本部 中西勇太 本部長と HORIZONグループ Vision Yachts (造船会社) 代表 Austin Lin氏に直撃インタビュー	10
	豊かな自然が築き上げた天然の良港で 御食国の四季折々の美食に触れる ＞ 的矢湾 サイトクルージング	14
	PONAM OWNER INTERVIEW 夫婦で楽しむLUXZY(ラグジー)なマリンライフ PONAM-31 Z Grade オーナーインタビュー	20
	日本百景「江の島」を有す豊かな海で 自然の恵みに触れる特別な休日 ＞ 相模湾 グルメクルージング	24
	トップマネジメント 自ら体験 PONAM-28Vで秋の伊勢湾に出航 ▶ ボートフィッシングで真鯛や根魚を狙う	30
	LEXUS Tsu & Matsusaka Special Event LEXUS CRUISING EXPERIENCE 2023 2023.11.12(Sun) in Marina Kawage	32
	TDA(トヨタドライブアシスト)がTDA+に進化 風や潮の影響を軽減し、スムーズなジョイスティック操作を実現	34
	クルマ屋がつくる3Dニットのフェンダーカバーが誕生 唯一無二のデザインに、高い耐久性と防汚性を実現	36
	PONAM-31 Z Grade サービス講習会 in 横浜ベイサイドマリーナ	38
	MARINA DIVIDE VOL.17 MARINE PORT MIHAMA マリーナ探訪 マリンポート美浜	40
	PONAM LINE UP ポーナムラインナップインフォメーション	42

SeaDek® MARINE PRODUCTS



REGAR

株式会社リガーマリンエンジニアリングは、
SeaDekの認定加工業者(Certified Fabricator)のライセンスを取得し、
国内での製造加工をしています。



PONAM35,PONAM31,PONAM28V お好みのデザインでご注文承れます



SeaDek®はHyperForm社の商標登録です。

株式会社リガーマリンエンジニアリング

三重県いなべ市大安町南金井1732番地
TEL:0594-87-0200 FAX:0594-87-0300

リガーマリン シーデッキ

HP



Instagram

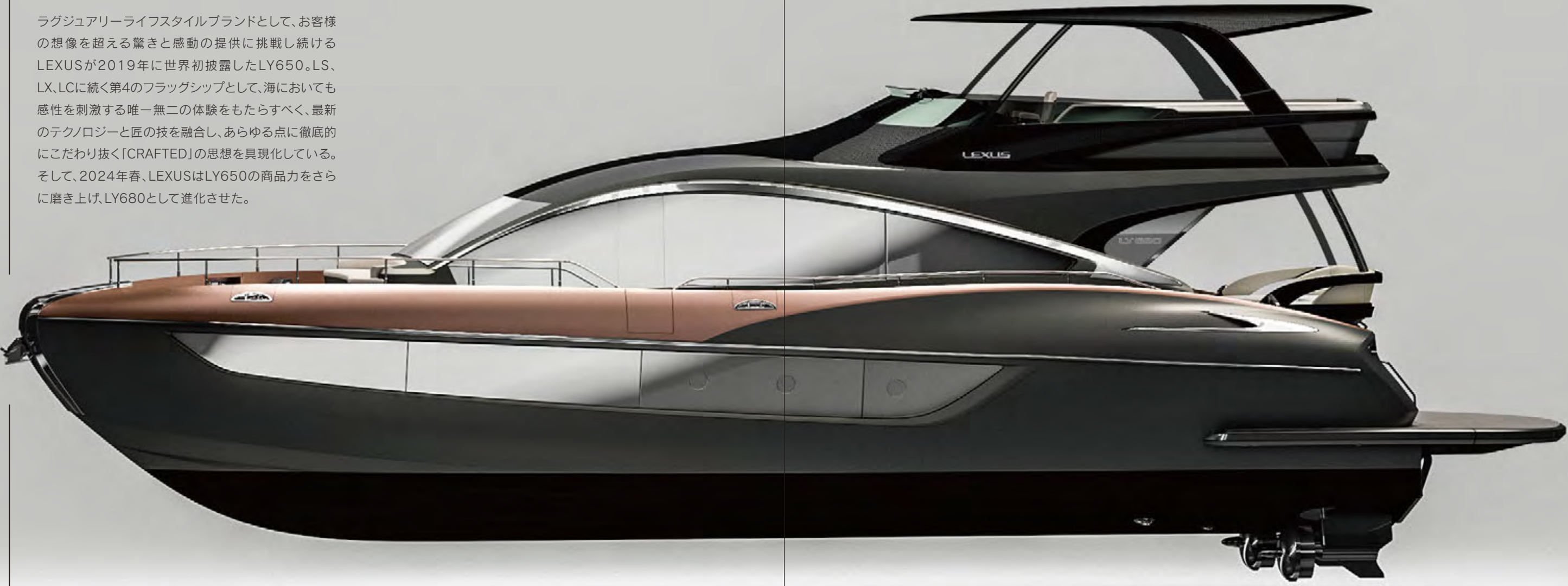


LINE@



フラッグシップモデルがさらなる進化を遂げて登場
2024年春、LEXUS YACHT「LY680」発表

ラグジュアリーライフスタイルブランドとして、お客様の想像を超える驚きと感動の提供に挑戦し続けるLEXUSが2019年に世界初披露したLY650。LS、LX、LCに続く第4のフラッグシップとして、海においても感性を刺激する唯一無二の体験をもたらすべく、最新のテクノロジーと匠の技を融合し、あらゆる点に徹底的にこだわり抜く「CRAFTED」の思想を具現化している。そして、2024年春、LEXUSはLY650の商品力をさらに磨き上げ、LY680として進化させた。



コンセプトは、「海の真ん中に、本物を知る人が素の自分に戻る、隠れ家のような空間」。LEXUSらしい優美で躍動感のある外観、洗練されたインテリアを維持しつつ、世界的なトレンドを採り入れることで、居住性と機能性の拡充を実現。「空間」をキーワードに、大胆に拡充されたフライブリッジやスイミングプラットフォームは大きな変化点となっている。今回のプロジェクトでは、スーパーヨットの建造で磨かれた高い技術力と優れた生産能力に定評のあるHorizon社を新たにパートナーとして迎え、両社の強みを活かすことで、より高品質なラグジュアリーヨットを提案していく予定だ。



屋外でのゆったりとした贅沢な時間を楽しめるよう、フライブリッジ・スイミングプラットフォームを拡大。



フライブリッジには、ゆったりとくつろげる広いラウンジソファを採用。



スイミングプラットフォームは約700mm延長し、オフショアでの楽しみ方の幅を広げている。



「LY680」製造にあたり、両社が抱く想いとは

トヨタ自動車 事業開発本部 中西勇太本部長と
HORIZONグループ Vision Yachts(造船会社)代表
Austin Lin氏に直撃インタビュー

LY650をかたどった模型の前で写真に
納まる中西勇太事業開発本部長(写真
右)とVision Yachts 代表 Austin Lin氏
(写真左)。今回のプロジェクトに対する
熱い想いを語ってくれた。



ー LY680製造にあたり、Horizonを
パートナーに選んだ理由を教えてください。

LEXUS「1987年に創業されたHorizon
社は100feetを超えるスーパーヨットを
手掛けるなど、ラグジュアリーヨット市場
におけるアジアのリーディングブランド
です。カスタムビルドを得意とされてお
り、世界中のお客様の多種多様なご要望
に寄り添いながら、最適なソリューション
を提供されてきました。様々なビル
ダーと対話をさせていただきましたが、
LEXUSが目指すモノづくりに対して最も

共感いただき、我々としても最も拘りた
い「造る力」に非常に優れていることが
決め手になりました。」

ー Horizonにどんなことを期待して
いますか？

LEXUS「お互いに得意な領域が異なる
と考えています。LEXUS YACHTはクルマ
屋が造るラグジュアリーヨットとして、これ
まで26年間培ってきたマリン事業のノウ
ハウを余すことなくつぎ込んでいます。卓
越したパフォーマンスと静粛性、先進技術

による優れたユーザーエクスペリエンス、
L-finesseを踏襲した流麗なスタイリング
と我々にしかできない体験価値をご提案
しています。また、TPS(トヨタ生産方式)を
応用した良品廉価なモノづくりも得意と
している領域です。一方、Horizon社は超
大型ヨットの豊富な建造実績から蓄積さ
れた造る力、安全安心な航海をともにす
るパートナーとしての居住性や機能面
での優れた設計能力といった、クルマ
づくりとは異なる技能・ノウハウをお持ちです。
両社の強みを活かし、さらに良いモノづく
りを実現していきたいと考えています。」

ー 両社の強みを活かすことでどんな
相乗効果が期待できますか？

LEXUS「実は同じヨットといっても、
両社は全く違うモノづくりをしてきまし
た。我々は25年以上、国内市場を中心
にPONAMブランドを展開して参りました。
クルマ屋が造るボートですから、
TPSの考え方を採り入れ、基本は量産
の工程造りがベースになっています。一
方、Horizon社はカスタムを得意とされ
ております。メガヨット、スーパーヨット
と呼ばれる超大型ヨットでは一般的で
すが、中小型も取り扱うビルダーとして

は世界でも稀だと考えています。簡単に
言えば、我々は建売住宅を得意としてい
るのに対して、Horizon社は注文住宅の
技術を磨いてきたといえバイメージも
湧きやすいかもしれません。一艇一艇
お客様のニーズに合わせる匠の技を持
つHorizon社の強みに、TPSを応用した
ヨット生産手法を重ね合わせ、両社の強
みを活かすことで、より品質の高い商品
をお客様へお届けできるよう、日々対話
を重ねているところです。また、エンジ
アリングにおいても、唯一無二のスタイ
リングを継続しながら、確実にレベルア
ップしたディテールを提供できるよう活

な意見交換が行われています。より豊かな
質感を感じていただける商品になると信
じておりますので、ぜひご期待ください。」

ー LEXUSとして、今後の展望につ
いて教えてください。

LEXUS「LY680は2025年度からお
客様へ納艇を開始する予定で順調にプ
ロジェクトが立ち上がっています。まずは
お待たせしているお客様へ商品をお届
けするのが最優先であり、市場での反響
を踏まえて、今後の商品展開を検討して
いく考えです。」

LEXUSのデザインフィロソフィーである
L-finesseを具現化した流麗なスタイリングに、
Horizon社の強みである大型ヨットの建造で培った
「造る力」が交わることで、両社の強みを活かした
良いモノづくりを実現していきたいです。

中西勇太事業開発本部長



インタビュー後には両社による会談も行われ、LY680のプロジェクトについて、進捗の確認や製造を進める
上での共有事項など、様々な観点で打合せが行われていた。

－ LEXUSからLY680製造の話
聞いた時、率直にどう感じましたか？

Horizon「LEXUSとHorizonとの協業
を初めて聞いた時、純粋に興味が抑えら
れませんでした。LEXUSはその細部への
拘りと品質への拘りで、世界的に非常に
名の知れたブランドです。一方、Horizon
は30年以上にわたりヨット業界へ最高
の品質をコミットし、お客様からの信頼
を勝ち取ってきました。すなわち、2つの
ブランドが互いの思想を共有し協創する

ことで、素晴らしいプロダクトを世界中
にお届けできると確信しています。お客
様同様に、どのような素晴らしい製品が
できあがってくるのか、私も楽しみでなり
ません。」

－ 自社の強みについて教えてください。

Horizon「Horizonは“セミカスタムヨツ
トビルダー”として、非常に競争力が求め
られるセグメントで長年戦ってきました。
スーパーヨットを建造することは、船舶

工学分野での卓越した技術力だけでは
なく、細部にまで拘った品質で高級感を
感じていただく必要があります。“セミカ
スタムヨットビルダー”とは、顧客一人一
人の価値観に合わせた提案をすることが
重要であり、一般的なボート建造とは
異なる能力も必要となります。我々は世
界中のお客様の趣味嗜好にあわせ、納
期遵守のなかで、優れた設計、生産、柔軟
性を磨いて参りました。これらすべての
ノウハウがHorizon Groupの最大の強
みです。」

2つのブランドが互いの思想を
共有し協創することで、
素晴らしいプロダクトを世界中に
お届けできると確信しています。

Vision Yachts 代表 Austin Lin氏

－ 両社の強みを活かすことでどんな
相乗効果が期待できますか？

Horizon「LEXUSは卓越したエンジニ
アリングとデザインにおける、クラフトマ
ンシップで世界的に名が知られていま
す。そして、Horizonが持つエンジニアリ
ング能力と生産品質は、LEXUSが要求す
る高い水準を満たすことができると信じ

ています。2つのブランドを組み合わせる
ことで、世界トップクラスのヨットを生み
出すことができると期待しています。」

－ Horizonとして、今後の展望につ
いて教えてください。

Horizon「ワールドクラスのブランドと
のコラボレーションは、Horizonにとって

非常に刺激的なことであり、会社にと
特別な反応をもたらし、私たち自身のブラン
ドも、さらに良くなることができると信じ
ております。今回の連携は両社にとって
非常に有益なものとなると考えており、
あらゆる可能性で様々な協業をしていき
たいと考えております。」



1. 愛知県蒲郡市にあるラグナマリーナをVision Yachtsの視察チームが訪問。棧橋に係留されたLY650を視察し、船体やインテリアの構造など、詳細な仕組みを確認していた。2. 視察後にはインテリアの素材やカラーリングなどについても、開発を担当するスタッフ同士が念入りに打合せを行っていた。3. Lin代表も自らエンジンルームに入り、エンジンや周辺機器の詳細な構造をチェックしていた。4. LY650の現物を確認したVision Yachtsの視察チームからはインテリアの構造や使用する素材について、新しい提案も行われていた。



1987年に設立されたHorizon社は、その洗練された職人技と革新的かつ優れた製造技術で、ラグジュアリーヨット市場におけるアジアのリーディングブランドとして知られる。また、「ベストアジアモーターヨットビルダー」として14年連続で表彰されており、スーパーヨットレポートでは世界トップ10に入るグローバルスーパーヨット企業の1つとして認められている。製造面においては台湾のヨット総輸出の3分の1を製造しており、台湾を世界トップ5の高級メガヨット建造国の1つに押し上げた実績を持つ。

A. Horizon社は造船所やマリーナをはじめ、最先端の造船設備とデジタル生産管理システムを保有し、世界各国に高品質なHorizon Yachtsを提供している。B. ライフスタイルとしてのヨットを普及させるため、Horizon社では台湾高雄では初となるプライベートヨットマリーナ「Horizon City Marina」を運営。こちらには200ftのヨットも停泊可能。C. 高速で正確な計測を行うコンピュータ駆動のフライス加工システムでは、ほぼ完全に左右対称で驚くほど一貫性のある形状を作り出すことができる。その結果、最高の効率性、芸術性、経済性で造られた絶妙なラインを持つ船舶が製造され、オーナーに美しさと価値を提供してくれる。D. 納艇前には船体の水漏れテストを実施。モンスーン時の気象条件を想定し、数千ガロンの水を使用した上で、約2～4時間様々な角度からヨットにシャワーを浴びせている。E. Horizon社では世界各国のポートショーにも積極的に出展しており、世界的なスーパーヨットの市場でも高い評価を受けている。



1. Horizon社の建造現場を中西勇太事業開発本部長とマリINSTAFFが視察。非常に整理整頓が行き届いている現場で、高いスキルを持つ職人が1艇ずつ丁寧な作業で仕上げています。2. 顧客をもてなすショールームにはこれまで製造されたモデルの模型が並んでいた。3. 視察当日もシップヤードには建造中のスーパーヨットがいくつも並んでおり、改めてHorizon Yachtsの需要の高さを感じることができた。4. 出荷前のHorizon FDシリーズサロンで笑顔を見せる中西本部長とLin 代表。細部にまで拘った生産品質で完成間際まで、きめ細かな作業が計画されていた。5. 大型のCNCマシンにて切り出される精密な切削技術を視察。この高い精度が、より高品質なスーパーヨット製造を可能としている。6. 世界中のオーナーからのリクエストに合わせて製造されるため、製造現場に並ぶ大型艇には一艇たりとも同じものがない。効率化された工程の中でトヨタとの協業により、さらなる品質向上が期待されている。7. 大型FRP部品の生産を担うグループ会社Atech社を視察。真空成型のギネス記録を有する高い技術力で、安全かつ良品廉価なモノづくりに貢献している。

豊かな自然が築き上げた天然の良港で
御食国の四季折々の美食に触れる

的矢湾 サイトクルージング



今回はラグジュアリーライフスタイルブランドを目指すLEXUSが提案する海のモビリティLEXUS LY650で的矢湾へ向けに出航。



LS、LX、LCに続く第4のフラッグシップとして、LEXUS YACHTのラグジュアリーな世界観を表現している。出航場所となったラグナマリーナからは約1時間40分の船旅となる。

三重県志摩半島の東側に広がる的矢湾はその優れた景観から伊勢志摩国立公園にも指定され、複雑な自然が織り成すリアス式海岸をはじめ、真珠や牡蠣などの養殖業も盛んなエリアとなっている。年間を通じて穏やかな日も多く、海上からはテーマパーク的の矢湾大橋といった様々なランドマークも見学できるなど、クルージングにはうってつけのスポットだ。今回は天然の良港とも言われる的矢湾の魅力に触れるべく、LEXUS LY650に乗って海に出た。

取材協力

ラグナマリーナ
〒443-0014
愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地
TEL:0533-58-2950



衣装協力

muta JAPAN 株式会社



1. 天井やファブリックなどは白を基調にレイアウト。木部にはユーカリを採用し、個性的な色と輝きでラグジュアリーな空間を表現。フローリング調のフロアにはカーペット素材で型取られたLEXUSのロゴが潜む。2. 静粛性の高い船内は冬でも空調が効いており、居心地も抜群だ。3. 流麗なフォルムのサイドウィンドウからは自然光がたっぷりと降り注ぐ。サロンテーブルの支柱は「L」を連想させるデザイン。

非日常を味わう大人の休日 LEXUS LY650で過ごす特別な時間

今回の旅の友となるLEXUS LY650はラグジュアリーライフスタイルブランドを目指すLEXUSが提案する新しい海のモビリティ。LEXUSのフィロソフィーを陸だけでなく海でも表現したラグジュアリーヨットとして、LS、LX、LCに続く第4のフラッグシップとなっている。洗練された雰囲気漂うサロンは一歩足を踏み入ると乗船した人々を

非日常の世界へと誘う。船内にはLEXUSの「L」を連想させるデザインがいくつも採用され、上質な空間のなかに、遊び心も感じられる。サロンの左右には大型のソファが配置され、くつろぎながら三河湾に浮かぶ島々や伊良湖沖の神島など、美しい外の景色も眺めることができる。サイトクルージング当日は伊良湖沖を越えて外洋に出ると、少し風波も高くなってきたが、65フィートのラグジュアリーヨットの航行には全く影響が無い。これならゲストも不安を抱きにくく、冬場でも存分にクルージングを楽しめそうだ。



4. フルビームを使ったマスターステートルーム。アイランドベッドをはじめ、全てのインテリアが曲線を描き、洗練されたデザインに統一されている。5. パウキャビンにはVIPルームを配置。マスターステートルームのベッドやインテリアと同じシェルデザイン。6. アフトデッキにあるラウンジソファ。こちらでも海風を感じながら爽快なクルージングを楽しめる。

豊かな自然が築き上げた天然の良港で
御食国の四季折々の美食に触れる

的矢湾 サイトクルージング

喧騒を忘れさせる的矢湾の美しい景観

クルージングの舞台となった的矢湾にはラグナマリーナから約1時間40分。船内のサロンでのんびりとプライベートな時間を楽しむには丁度いい距離感である。三河湾、伊勢湾を経て安乗埼灯台に見守られながらの矢湾へ進むと、複雑な海岸線が織り成すリアス式海岸をはじめとした豊かな自然が迎えてくれる。的矢湾は古くから天然の良港と称される穏やかな海域で、クルージングにも最適なエリアだ。また、三重ブランド認定品の「的矢かき」の養殖地としても有名で、湾内には海面に浮かぶ牡蠣筏をいくつも見ることができる。海岸線には的矢湾を一望できる邸宅も数多く立ち並んでおり、このエリアの景観の素晴らしさを物語っている。湾内を奥へ進んでいくと青く澄んだ海に赤々と際立つ的矢湾大橋が現れる。豊かな自然に囲まれた美しい景観を海上から楽しめるこの時間はポートオーナーならではの贅沢な特権だ。



的矢湾を航行するLEXUS LY650。外海はやや荒れていたが、湾内は非常に穏やかであった。



的矢湾に面した海岸線にはお洒落な邸宅をいくつも見る事ができた。



パウデッキには前方を向いた大型ソファがあり、クルージングの際は開放感溢れる景色を楽しめる。



豊かな自然に囲まれた的矢湾にはリアス式海岸が広がり、海と山々が織りなす美しい景観を楽しめる。パールロードを繋ぐ的矢湾大橋。橋長237.6mの美しいアーチ形状の鉄橋。



1. ヘルムステーションにはLEXUSオリジナルのヘルムシートを配置。コンソールは低めに抑えられ、クルージング時の視界も良好だ。2. LEXUS譲りの優れた静粛性を実現しており、アフトデッキからの的矢湾の美しい景観を堪能した。3. スタイリッシュなフライブリッジでは360度見渡せる絶景が広がる。3. フライブリッジのヘルムステーションは機能的なレイアウトでスムーズな航行をアシストしてくれる。



福寿荘にポートで行く際は事前にお宿へ連絡し、
係留場所を確認しておく。



今回の係留場所からお宿までは徒歩2分ほどで到着できた。

地元で獲れた旬の食材を厳選 美食が集まる離島の宿

的矢湾でのクルージングを堪能した後は航路を少し引き返し、
渡鹿野島へと向かう。今回ランチのために立ち寄ったのは渡鹿野
島の南部に佇むお宿「福寿荘」。地産地消にこだわった旬の地元
食材などを楽しめるこちらのお宿では料理長自ら食材の目利き
を行っており、その時期に最も美味しい食材を最適な調理法で
提供してくれる。撮影を行った12月初旬には三重のブランド牡蠣
「的矢かき」や、さっぱりとした脂が自慢の伊勢まぐろが人気と
なっており、豊饒な海で育った美食の数々を味わうことができる。
また、福寿荘を訪れたならぜひ堪能しておきたいのが豊富な湯量
を誇るお風呂である。庭園露天風呂「風待ちの湯」では内湯をは
じめ、檜風呂、岩風呂、打たせ湯、寝湯といった様々な趣の湯を楽
しめる。良質な療養泉で日頃の疲れを癒しつつ、海の旅路に思い
を馳せるのもクルージングならではの乙な楽しみ方だ。的矢湾を
楽しむ旅なればこそ、海を往くクルージングは旅をより鮮明に、
思い出深いものにしてくれるだろう。



渡鹿野島にある「福寿荘」はレジャーポートでの利用にも最適なお宿。新鮮な海の幸や良質な温泉が自慢で、日常の喧騒で疲れた体を優しく癒してくれる。



1. ロビー前には穏やかな潮風を浴びながらくつろげる「海ほたるテラス」がある。2. お宿は海に面しており、的矢湾の海を見ながらのんびりと島内を散策できる。3. 四季に合わせて様々な表情を見せる庭園露天風呂「風待ちの湯」。檜風呂、岩風呂をはじめ、趣の異なる様々なお風呂を楽しむ。



福寿荘では伊勢志摩の海で獲れた鮮度抜群の食材を料理長が直接目利きし、最も美味しい食べ方で
提供してくれるため、食材の魅力が存分に引き出された料理の数々を楽しむ。



A. 的矢かき陶板焼き(炭火)…的矢かきは牡蠣独特の苦味が少なく濃厚な甘みの特徴。炭火でじっくりと焼き上げることで
際立つ香りが食欲をそそる。B. 釜炊きご飯…食材の旨味を余すことなく閉じ込めた一品。具材は季節によって変えており、
四季折々の旬の味覚を味わえる。C. 的矢かきフライ…大粒の的矢かきをサクサクの衣で包んでおり、軽快な衣の食感と
ふくらと柔らかい矢かきの濃厚な旨味を存分に堪能できる。D. 鯛かぶと煮…味がしっかりと染み込んでおり、ご飯が
進む一品。福寿荘の名物にもなっており、リピーターも多い。E. 伊勢まぐろ握り…地元で養殖されたクロマグロ「伊勢まぐろ」
の握り。臭みが少なく、引き締まった身とさっぱりとした脂の旨味が楽しめる。

取材協力

福寿荘

〒517-0205 三重県志摩市磯部町渡鹿野517
TEL:0599-57-2910



YouTubeで
動画も配信中



YouTube

夫婦で楽しむLUXZY(ラグジー)なマリンライフ PONAM-31 Z Grade オーナーインタビュー

「自分で釣った魚は本当に美味しいですよ。」夫婦で釣りを楽しむ荒木オーナーは顔をほころばせながらそう語る。海の上で冗談を言い合いながらポイントを探し、試行錯誤の末に魚を釣り上げた時の感動はオーナーにとって特別な瞬間だ。普段からマイボートで釣りや船上パーティーを楽しむお二人に、夫婦で楽しむマリンライフの魅力についてお話を伺った。



和歌山マリーナシティから、荒木オーナー、沙耶香夫人とともにPONAM-31 Z Gradeで出航した。



1. フライブリッジでは沙耶香夫人が爽快な乗り味を楽しんでいた。2. フライブリッジは荒木オーナーのお気に入りの場所。いつも二人で冗談を交わしながら、魚のいるポイントを探している。3. ポイント到着後は手際良く釣りの準備に入る。4. 沙耶香夫人は自身のYouTubeチャンネルでも積極的に釣りに関する情報を発信するなど、釣りのスキルも非常に高い。5. 夫婦でタイラバの仕掛けを自分たちで組み合わせて作るなど、釣りの仕掛けにも拘って釣りを楽しんでいる。



TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)のバーチャルコンパスモードを使用することで、両舷から竿を出すことができた。



当日はトヨタマリン営業所の坪野所長が沙耶香夫人にTVASの効果的な使い方を説明していた。

－ はじめに、クルーザーを購入しようと思ったキッカケを教えてください。

荒木オーナー 「新西宮ヨットハーバーでボートショーが開催されると聞いて見に行ったのがきっかけです。そこで展示されていたPONAM-31 X Gradeの内装を見て、PONAM-31に興味を持ちました。そこから色々話をしていくうちに、PONAM-31 Z Gradeの1号艇が入る予定だということを聞いて、購入を検討しようと思いました。」

－ 現在のボート(PONAM-31 Z Grade)を選ばれた理由は何ですか？

荒木オーナー 「1号艇で験が良いということと、カラーリングも非常に良いと思いました。カタログを見ている、より一層のラグジュアリー感を感じられたためPONAM-31 Z Gradeに決めました。」

－ 船名(LUXZY)の由来を聞かせて下さい。

荒木オーナー 「LUXZY(ラグジー)という船名はLUXURY(ラグジュアリー)と居心地の良いという意味のCOZY(コジー)を組み合わせた造語で、私たちが持っているラウンジの名前から来ています。もともと釣りが好きで、釣った魚を料理して家族やお世話になっている人たちと楽しむラウンジを持っていて、PONAM-31 Z Gradeの持つ雰囲気にもぴったりだと思い、同じ名前を付けることにしました。」



1. バーチャルコンパスモードは風向きや潮流に関係なく、指定した方向に船首を保持してくれる。流される方向や速度をコントロールすることも可能。2. アフトデッキは広々としており、大型のクーラーボックスなどを置くスペースも十分に確保されている。3. ブルワークには2way利用が可能なホルダーを設置。ホルダーはペットボトルが収まるサイズの直径だが、奥にロッドを差し込めるサイズの穴もあり、ロッドホルダーとしても利用可能。



ー ポーナムに乗って、どんなマリナライフを楽しまれていますか？

荒木オーナー「妻と釣りに行くことや、普段からお世話になっているお客様やそのご家族をご招待して、クルージングを兼ねた釣りを楽しんでいます。また、私たちの友人を招いて船上パーティーをしています。」

ー PONAM-31 Z Gradeについて、ご夫婦でそれぞれ特に気に入っている点はどんなところですか？

荒木オーナー「フライブリッジの質感とここからの眺めですね。オーニングも気に入っています。」

沙耶香夫人「私はラグジュアリーなサロンが気に入っています。ここに友人を招待して、みんなで女子会をすることもありますし、デッキからは花火や夜景を楽しめるので、こちらもお気に入りの場所になっています。」

ー ボートで海に出て、これまでで1番感動したことは何ですか？

荒木オーナー「二人で一生懸命探したポイントで実際に魚が釣れた時は本当に感動しました。自力で試行錯誤したからこそ喜びもひとしおで、船を買ってよかったなと感じさせられる瞬間でしたね。」

ー 夫婦でマリナライフを楽しむ魅力は何でしょうか？

荒木オーナー「なによりも二人で行くので楽ですね。お互いに免許を持っているので操船も代われますし、安全面でも心強いです。釣りの際はどちらかがボートを操船していれば、もう一人は釣りにも集中できます。釣りもそうですが、ゴルフもほとんど二人で行きます。夫婦で共通の趣味ができると、それが共通の話題にもなるので、夫婦で色々な会話が生まれたりするのも魅力だと思います。」



1. 当日は風が強く、ややラフな海況ではあったものの、二人で粘り強く魚を探し続けた結果、見事に狙いの太刀魚を釣り上げてくれた。2. その後も立て続けに太刀魚を釣る沙耶香夫人。完全にこの日のヒットパターンを掴んだ様子だった。3. 撮影序盤には良型のハマチも釣り上げてくれた。狙った魚種に対し、的確に仕掛けや釣法を変える姿が印象的であった。4. 魚影の濃い友ヶ島周辺ではポイントを細かく探っていく。太刀魚をはじめ、青物、真鯛、根魚など、様々な魚種にチャレンジできる。



サロンは沙耶香夫人のお気に入りのエリア。釣りの合間や移動中は休憩スペースとしても活用している。



釣りや船上パーティーなど、自身の活用方法についても、分かりやすくお話を聞かせてくれた。



サロンのヘルムステーションでも快適に操船が可能。



1. 釣った魚を美味しく調理して食べるため、事務所の1階を改装。専用ラウンジをオープンし、「LUXZY」と名付けた。2. ラウンジ内には業務用真空パックや瞬間冷凍装置だけでなく、マグロ用の-60度の冷凍ストッカーも完備。沢山釣った日もここに保管しておくことで、2〜3ヶ月先まで鮮度を保てるとのこと。3. 夫婦で釣った魚を美味しく食べるため、沙耶香夫人も料理の勉強をしており、食卓には色鮮やかに盛り付けられた鮮度抜群の魚が並ぶ。4. 料理の完成度はどれも非常に高く、ラウンジには日頃からお世話になっている方々を招待し、食事をふるまうこともある。

取材協力

和歌山マリーナシティ ヨット倶楽部
〒641-0014
和歌山県和歌山市毛見1516番地
和歌山マリーナシティ内 TEL:073-448-0033



アインスAリゾート株式会社
〒590-0984
大阪府堺市堺区 神南辺町四丁118
TEL:072-224-4040



～相模湾 グルメクルージング～

富士山

神奈川県

東京湾

江の島

リビエラ逗子マリーナ

相模湾



日本百景の江の島から空へと伸びる江の島シーキャンドルを海から一望。船だからできる贅沢な島の楽しみ方だ。



海から眺める日本百景の新たな一面

取材協力 | **リビエラ逗子マリーナ** 〒249-0008 神奈川県逗子市小坪5-23-9 TEL:0467-23-2111



リビエラ逗子マリーナはゲスト
パースを完備しており、レストラン
にはポートでのアクセスが可能。
(要事前予約)



“FRESH, ORGANIC, LOCAL”をコンセプトに地元食材や厳選された
サステナブルな食材を使った、体にも地球にも優しい料理を提供している。

リビエラ逗子マリーナ内にある「マリブファーム 逗子マリーナ」。アメリカL.A.に本店を置く
海外セレブに大人気のレストラン「マリブファーム」の日本初上陸店。



店内は全開放可能なサッシによって、テラスとの
一体感を感じられる開放的な空間となっている。



マリーナから見える海と繋がるような大きな水盤が広がる約80席のテラスエリアには三方を
水に包まれたウォーターテラス席など、趣向を凝らした様々な席が用意されている。

“FRESH, ORGANIC, LOCAL” アメリカL.A.で大人気のレストラン

マリブファーム 逗子マリーナは“FRESH, ORGANIC, LOCAL”を
コンセプトにしたアメリカL.A.マリブに本店を置くレストランで、アメ
リカに展開している6店舗には長蛇の列ができるほどの人気店となっ
ており、海外セレブからも厚い支持を得ている。2020年にリビエラ
逗子マリーナへ日本初上陸となったお店は全開可能なサッシによって、
テラスと店内席が一体感を感じられる開放的な雰囲気を楽しめる。
また、マリーナに面した相模湾と繋がるような大きな水盤が広がる
テラスには三方を水に包まれたウォーターテラス席や、暖炉を囲み
ながら寛げるファイヤーテラス席などがあり、様々なシチュエーション
で訪れた人をもてなしてくれる。レストランに併設する全11室オール
スイートのマリブホテルも人気を集めており、朝食の際にはルーム
サービスで同レストランの料理を味わうことも可能だ。部屋に併設
されたガーデンテラスやバルコニーから海と富士山を望みながら、
厳選された自然の恵みに舌鼓を打てば、クルージングはより特別な
思い出になるだろう。



1. レストランにはリビエラのSDGs
「リビエラ未来づくりプロジェクト」
の一環として「マリブエシカルショッ
プ」も併設されている。2. 「エシカル」
や「サステナブル」を掲げた商品を
中心とした、マリブファームオリジナル
グッズも販売されている。3. 本体
素材にバンブーファイバーを配合し
たエコなタンブラー。4. 「マリブ
ファーム カフェ」ではシェフがお勧め
する地元食材を使ったライトミール、
デザート、ドリンクなどが楽しめる。
5. テラス席で穏やかな相模湾を望
みながらゆったりと過ごすのも贅沢
な遊び方だ。テイクアウトも可能。



厳選されたサステナブルな食材を使用 身体にも優しいメニュー

マリブファーム 逗子マリーナでは現地の人気メニューはもちろん、日本限定のメニューも提供されている。地元湘南の新鮮な野菜や相模湾で獲れた魚介類の他にも、レストランで出た野菜くずなどをリビエラ逗子マリーナ内のコンポストステーションで一次処理し、地元にある契約農家の土に堆肥として混ぜ合わせて作られた湘南で循環する野菜を使用する

など、SDGsの一環として循環型農法も2006年から取り入れている。また、レストランでは食べ合わせの効能をシェフが考え抜いたメニューを3か月に1度リニューアルして提供するなど、年間を通じて様々な旬の食材を楽しめる。シェフの技術とアイデアが詰まった身体にも地球にも優しい料理は、きっと旅をより豊かなものしてくれるだろう。

リビエラ逗子マリーナにあるもう一つのレストラン「リストランテAO 逗子マリーナ」。富士山と江の島を望む全席オーシャンビューのモダンイタリアンで、相模湾で水揚げされた魚介類をはじめ、鎌倉野菜、希少な葉山牛など、地産地消にこだわった食材を楽しませてくれる。



「旬を味わう」をコンセプトに、アラカルト・コース料理・本格窯の焼き立てピザに定評がある。普段の食事から記念日使いにも利用できる洗練された空間を持つレストラン。夜は美しい夕焼けに染まる相模湾が眼前に広がり、上質な時間を過ごさせてくれる。



リストランテAO 逗子マリーナ 〒249-0008 神奈川県逗子市小坪5-23-16 リビエラ逗子マリーナ内 TEL:0467-25-0480

YouTubeで
動画も配信中



YouTube

骨付き鶏腿コンフィとラタトゥー

低温で2時間、しっかりと焼き上げた鶏腿肉に、ビタミンやミネラル、クエン酸が豊富なラタトゥーを合わせた相性抜群な一皿。地球に優しい農法で育てられた循環野菜も添えられている。



洗練された空間で非日常の雰囲気を楽しみながら食事を楽しめる。3か月に1度リニューアルされるメニューは食べ合わせの効能までもが考え抜かれた逸品揃い。



ブラータチーズとセルパチコ、フレッシュフルーツのサラダ バルサミコドレッシング

一般的なルッコラよりも強く香る胡麻のような風味が特徴的なセルパチコとカリフォルニア産のブラータチーズ、季節のフルーツを合わせ、オリジナルのバルサミコドレッシングで味わうマリブファームのシグネチャーサラダ。

茸のクリームスープ

エリンギや椎茸、マッシュルームをチキンブイヨンとクリームでまろやかに仕上げたスープは味わい深く、体に優しく染み渡る。



※季節により、食材やメニュー内容に変更あり。

PONAM-28Vで秋の伊勢湾に出航

▶ ボートフィッシングで真鯛や根魚を狙う

今回はトヨタ自動車の新たな事業創出を担う事業開発本部の中西勇太本部長がPONAM-28Vに乗船。伊勢湾で真鯛や根魚を狙ってジギングや餌釣りなど、実際に海上で釣りをすることで、自社製品の魅力や今後の製品開発のヒントをマリンスタッフと共有した。



PONAM-28Vに乗船し、見事に良型の真鯛を釣り上げた中西勇太事業開発本部長。



1. 愛知県蒲郡市にあるラグナマリーナからポイントに向けて出航。2. 自ら操船してPONAM-28Vの走りを楽しむことで、優れた走行性能を改めて確認していた。3. キャビンは幅もしっかりと確保され、操船中にはスタッフとより高品質なボートづくりについて、意見交換を行っていた。4. 走行中でも高い静粛性を保つことができ、キャビン内ではスタッフと歓談する時間も設けられた。



PONAM-28Vに採用されたトヨタハイブリッドハルはFRP・アルミ材・カーボン繊維を複合して生み出され、従来のアルミハルと同等以上の剛性・凌波性・軽量化を実現している。



1軸TVASを使用して真鯛や根魚を狙った釣りを楽しんだ。



1軸TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)

バーチャルコンパスモードでは風向きや潮流に関係なく、指定した方向に船首を保持し、流される方向や速度をコントロールすることが可能。

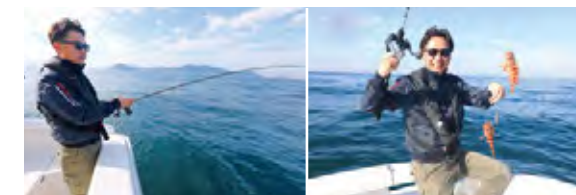
ジギングや、餌釣りなど様々な釣法にトライ TVASを駆使してスマートに釣果を重ねる

撮影が行われた11月下旬、季節外れの暖かさで当日は絶好の釣り日和となった。ラグナマリーナを出航したPONAM-28Vを操船していたのは事業開発本部の中西本部長。早朝にも関わらず自らステアリングを握り、気持ちよさそうにPONAM-28Vの走行性能を確かめていた。今回はジギング、餌釣り、泳がせ釣りなど、様々な釣法に挑戦し、真鯛、青物、根魚など豊富な魚種を狙うことに。伊勢湾では撮影日までに、良型の青物をはじめ、真鯛の好釣果が続いており、ポイントには連日多くのボートが集まっていた。この日もポイントに到着する前から船団があちこちに見えており、周辺のボートもポイント選びに苦慮している様子であった。ポイント到着後はPONAM-28Vに搭載された1軸TVASのバーチャルコンパスモードを使用。船団に合わせて流される方位や速度を調整することで、船団の中にいながらスムーズに狙いたいポイントを攻めることができた。釣りを始めて1時間程が経過した頃、普段プライベートでも釣りを楽しむ中西本部長の竿先に絞るようなアタリがあった。絶妙な合わせでフッキングした後、慎重に糸を巻き上げると、水面に良型の真鯛が上がってきた。午後からは餌釣りに切り替え、根魚狙いで海底付近を探っていると、大型のウツカリカサゴが姿を見せてくれた。他にもカサゴが連続でヒットするなど、この日は良好な釣果に恵まれた。風がやや強く吹き、ポイントにはボートが密集していたが、こうした状況下でもストレス無くスムーズに釣りができたことで、TVASの効果や精度についても、中西本部長から改めて高く評価されていた。



絶妙な合わせで釣り上げたのは良型のウツカリカサゴ。

この日は風が強くややラフな海況ではあったが、見事に真鯛やウツカリカサゴをはじめ、多くの魚を釣り上げることができた。



粘り強く魚のアタリを待つ中西本部長。日頃からプライベートでも釣りを楽しんでいる。撮影当日も絶妙な竿捌きで釣果を重ねていた。



1軸TVASの精度を確認しながら釣りを行う新事業推進部の上田部長。コンスタントに良型のカサゴを釣り上げていた。

LEXUS Tsu & Matsusaka Special Event LEXUS CRUISING EXPERIENCE 2023

2023.11.12 (Sun) in Marina Kawage



クラブハウス前にはLEXUS LC500 Convertibleが展示されるなど、LEXUSの世界観が陸上でも表現されていた。



来場者へ挨拶する三重トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 竹林 恵明 氏

イベントにはレクサス国内営業室 フィールドサポートマネージャー 鳥居 虎之介 氏も駆けつけた。



マリーナ河芸に入港するLEXUS LY650。来場者はそれぞれのグループに分かれ、伊勢湾での優雅なクルージングを楽しんだ。

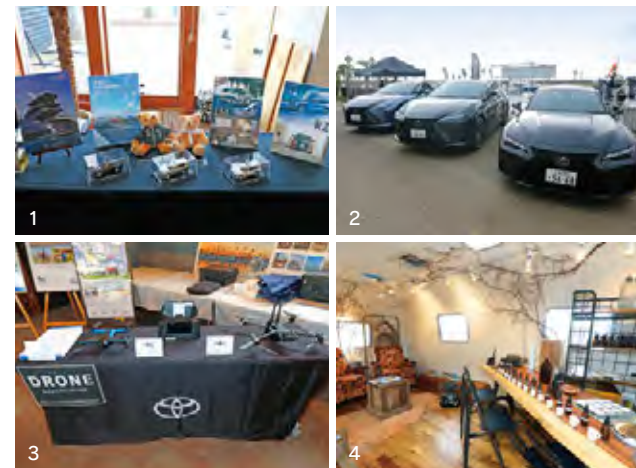
LEXUSオーナーに提供する プレミアムな非日常体験

三重県津市のマリーナ河芸でLEXUSオーナーを対象とした「LEXUS CRUISING EXPERIENCE 2023」が開催された。このイベントはラグジュアリーライフスタイルブランドとして、お客様の想像を超える驚きと感動の提供に挑戦し続けるLEXUSによる取り組みの一つで、当日はLEXUS LY650の

試乗やLEXUS車両の展示試乗などが行われた。試乗艇となったLEXUS LY650はフライブリッジクルーザーながら典雅かつスポーティーなフォルム、曲線を用いた優しい造形とアンビエントライトが織りなす心地よいインテリアで、乗船したオーナーをLEXUSの織りなす特別な世界観に引き込み、プレミアムな非日常の体験を提供していた。今回のイベントは陸と海、双方に洗練されたモビリティを持つLEXUSならではの「おもてなし」を体現させるイベントとなった。



来場者はLEXUS LY650の洗練されたスタイルと内装のクオリティに称賛の声をあげており、試乗の際には様々なエリアでのクルージングを楽しんでいた。



1. マリーナ河芸のクラブハウスには受付が設けられ、来場者の受付や車両に関する相談も行われていた。2. 当日はLEXUS RZ、RX、ISといった人気車種も展示されており、イベント参加者に限り試乗することができた。3. 三重トヨタグループが運営する総合ドローン会社「モビリティナビ」の展示も行われていた。4. アロマ調合の展示も来場者から高い注目を集めていた。

5. マリーナ河芸内の「CAFÉ&BBQ MERMAID」では南国情緒溢れる空間で、来場者に上質な食事を提供していた。6. この日はレストランで人気のBBQメニューを特別にシェフが焼き上げて提供しており、来場者は厳選された肉や野菜の旨みを存分に堪能していた。7. LEXUSの文字が入った色鮮やかなデザートも用意されていた。8. 食事の後はマリンスタッフによるLEXUS LY650の開発ストーリーが紹介され、来場者は興味深げに耳を傾けていた。



A. マリーナのクラブハウス前にはLEXUS LC500 Convertibleが2台展示されており、一際目を引いていた。B. FRらしい低重心かつ、ダイナミックなプロポーション。全自動式ソフトトップブルーフを搭載。C. エレガンスと機能性を両立したエモーショナルデザイン。D. 職人の手により一つひとつ造り込まれたTAKUMIのインテリア。(カラー：オーカー) E. LEXUS LC500 Convertibleは「インテリアもエクステリアである」というコンセプトのもとに内装をデザインしている。(カラー：ブルー＆ホワイト)

LEXUS LC500 Convertible

仕様・価格の詳細はホームページをご覧ください



今回イベントを企画したレクサス津、レクサス松坂をはじめ、関係者による集合写真。今後も全国各地でこうしたイベントが開催されることで、LEXUSが目指すブランドコンセプトや、その魅力を幅広い世代に伝えることができそうだ。

LEXUS
Tsu

レクサス 津



LEXUS
Matsusaka

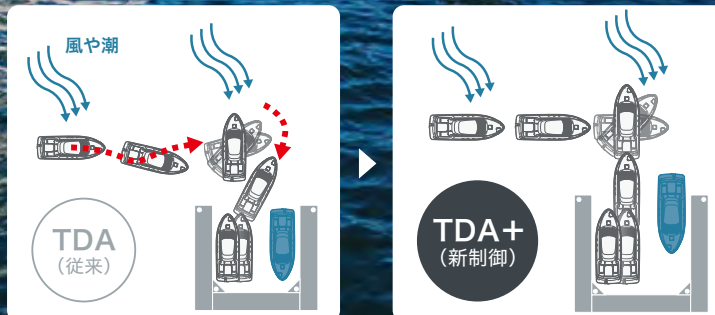
レクサス 松坂



TDA(トヨタドライブアシスト)がTDA+に進化

風や潮の影響を軽減し、スムーズなジョイスティック操作を実現

TDA+を使用して桟橋に着岸を行うPONAM-35。新たに開発中の制御技術では風や潮の影響を軽減し、自船の位置を制御してくれるため、より直感的なジョイスティック操作が可能となった。



NEW

クルマ屋の技術で海の安全安心・快適に貢献

TDAはジョイスティック操作で、離着岸をはじめ、海上での細かな船首方位の変更や移動などをサポートする操船支援システムとして、発表以降オーナーからも重宝されている。今回TDA+となった主な変更点は風や潮の影響を軽減し、スムーズにジョイスティックを操作できる点だ。従来はマリーナや岸壁で離着岸をする際、風向きを考慮し、自船が流される影響を加味してジョイスティックを操作する必要があったが、初心者の方にはこれが以外と難しい。今回TDA+として改良されたことで、より直感的なジョイスティック操作が可能となり、これまで以上に安全かつスマートに離着岸を行えるようになった。また、自船が風や潮に流された際に位置を調整する操作も減るため、ジョイスティックの操作回数も従来と比較して少なくなる。トヨタとしては今回のTDA+に使用している技術を自社開発の操船支援システムとして、他社艇へ搭載することも目指しており、昨年11月にはオランダのアムステルダムで開催された国際的なマリンレジャー産業向けの機器、材料、システムの世界最大の展示会METS(Marine Equipment Trade Show)に出展するなど、自社の技術を海外に向けて積極的にアピールしている。

TDA+での操船

実際にTDA+を使用した着岸風景



VR操船の体感

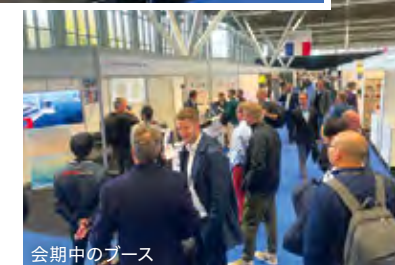


操船VRツール(システム構成、実際の画面、体感)

開発ストーリー ～製品に込めた想いと苦労～

TDA+の開発を進めるマリン事業室にはクルマや他のモビリティの制御技術の開発に携わってきたスタッフも多数在籍しており、クルマづくりで培った制御技術がマリンの制御システムにも活かされている。開発段階では様々な課題も見つかり、特に苦労したポイントとして挙げられたのが、制御技術を使用する場所が陸上ではなく海上になるという点だ。海上では風や潮の影響を受けて船は何もしていないのに動いてしまうため、制御の基点となる場所を決めるのが非常に難しい。そこで精度の高いGPSを使って自船の正確な位置を測定することで、その場所を基点に制御をかけられるようになり、海上でのリニアな操作性を実現している。開発スタッフが特に

拘ったポイントとして、加減速時や前後左右に動く際の自然なスピード感を重視しており、この点は営業チームと何度も打ち合わせを重ねることで、より自然で滑らかな動きを実現している。特に驚かされたのは船が減速する際に、ジョイスティックを戻した時は急にピタッと止まるのではなく、惰性で少しだけ進む従来の自然な船の動きも反映されるなど、通常の操船のように海上でも違和感なく操作することができる。こうした新しい技術が開発されていくことで、これまで以上にオーナーの操船負担も軽減され、安心してマリンライフを楽しむことに集中できるだろう。最後に、今回の操船支援システムの開発を通じて、最も大切にしていることを聞くと、「トヨタとして安心・安全な技術を早くお客様に届けたい。その一心で様々な課題と向き合いながら日々開発に取り組んでいます。」という頼もしい答えが返ってきた。開発スタッフはこれからも「こんな操船支援システムが欲しい!」といった現場のニーズに耳を傾けていくなかで、新しい技術開発にも積極的にチャレンジしていきたいと考えている。



海外展示会の様子



クルマ屋がつくる3Dニットのフェンダーカバーが誕生

唯一無二のデザインに、高い耐久性と防汚性を実現

トヨタはモビリティカンパニーとして、クルマづくりだけでなく、多様種少量生産の分野にも積極的にチャレンジしており、3Dニット技術を採用したオリジナルのフェンダーカバーを開発した。今回は商品開発に携わった開発試作部とデザイン室を取材し、3Dニット技術やフェンダーカバーのデザインに込められた想いについて、お話を伺った。



3Dニット技術で製造されたフェンダーカバーを持って写真に納まる開発試作部とデザイン室のスタッフ。将来的な販売を計画しているのは写真中央のブラックとグレーを基調にデザインされたモデル。少量生産のため限られたコストや時間のなかで、部署の垣根を越えて最高のモノづくりができるよう最善を尽くした。

少量生産にも対応可能な3Dニット技術を採用

今回取材した3Dニット技術は従来のセーターやマフラーなどニット製品を形通りに編む「成形編み」工法に加えて凹凸形状や袋状などの「立体編み」工法を組み合わせた新しい技術である。編み機に糸をセットし、編むためのプログラムを読み込ませるだけで厚みや立体感のある製品形状に仕上がることから裁断や縫製の手間を最小限にできるのが特徴だ。トヨタでは、お客様の好みに合わせた多種多様なデザインを素早く提案できるモビリティ向け加飾技術の一つとして開発が進められている。今回開発したフェンダーカバーでは内部に糸を揃えながらニット構造で包むことで、凹凸形状を作り、デザイン性のあるクッションリブ(カバー上下の柄)を表現している。また、トヨタの工場で製造されるため、品質にも非常に拘っており、クルマの内装材の耐久性を測る「摩耗試験」や「耐光試験」を行うなど、海上での過酷な環境下での使用を想定した上で、十分な「性能」を確保している。



フェンダーカバーのデザイン形状やカラーリング選定は開発スタッフとデザイナーで何度も議論を交わし、様々な色合いやメランジのパターンなどを比較、検証するなかで、最適な組み合わせを導き出した。



3Dニット技術を使ったフェンダーカバーの仕組みについて教えてくれた開発試作部の小崎 高裕さん。クルマづくりで培った技術を様々な製品に活かすトヨタのモノづくりについて、熱く語ってくれた。



カラー&感性デザイン室の井口 知左代さん。3Dニットにメランジを組み合わせたことで、生地の上に立体感が生まれ、色にも深みが出ている。原着糸を使用することで、選べる色に制限があるなかで、最適なカラーを選択し、製品をデザインした。

① 3Dニット技術で使用する糸には耐久性や色褪せのしにくさを考慮し、紡糸工程前の段階で着色剤を添加してつくられる原着糸を採用。今回はモノトーンのメランジ(左から3番目)を選択。② パソコンでPRGデータ(糸を編むプログラム)を確認し、編み機にデータを送る。「TOYOTA MARINE」のロゴもプログラムされているため、あとから刺繍する必要もない。③ 編み機のスイッチを押すと、機械がプログラム通りに糸を編んでいく。動作におかしな挙動がないか、目視でも確認している。④ 編み機を稼働してから30分も経たないうちに、フェンダーカバーができあがった。このスピード感があれば、少量生産であっても効率的に製造することができる。



シートカバーのような3次元形状も編み機1台で製造が可能。3輪BEV「C+walk s」のシートカバーにも使用されている。



編み機1台でほぼ全ての工程を完結させられるため、カット&ソーで作る場合と比較しても、端材がでないため無駄が少ない。今回は既に完成されたデザインを販売する計画だが、3Dニット技術はデザインの自由度も非常に高いため、将来的にはオリジナルデザインでの供給にも期待したい。



自社と他社製品に対し、クルマの内装材に行う摩耗試験を実施。他社製品と比較しても、非常に高い強度を確保している。

3Dニット フェンダーカバー

3 D K N I T F E N D E R C O V E R



今回開発された3Dニットのフェンダーカバー。トヨタマリンではクルマづくりで培ったトヨタの技術をマリン領域でも活用することで、マリンライフをより豊かにできる未来をめざしている。

色に深みを出すメランジを採用し、デザインの完成度を高める

3Dニットのフェンダーカバーを製造するにあたり、拘ったのは品質だけではない。トヨタのデザイン室と連携することで、より洗練されたスタイルに作り込まれている。デザインのポイントはフェンダーカバーの上下にクッションリブを配置したこと。これにより、デザインを引き締めることはもちろん、ニットの伸縮性を活かした両絞り形状となり、紐やゴムなどが無くても一体構造となるため、落下防止と脱着性の両立を実現している。カラーを選定するなかで着目したのが、メランジという2色以上の糸を編み込むことで霜降りのような深みのある色合いを表現するデザイン技法。生地の上に単色では表現できない複雑な表情や立体感を生み出すことができ、3Dニットと組み合わせることで、モダンな高級感を感じられる。また、上下にホワイトのストライプが入ることで、3Dニットのクッションリブと本体に統一感が生まれ、繋がりのあるデザインとなっている。メランジを採用したことで、少々傷も目立ちにくいメリットも生まれ、海上での使用にも適している。開発試作部とデザイン室が連携することで、クルマづくりで培った新しい技術と洗練されたデザイン技法が交わり、より魅力的なマリンアイテムが誕生した。

PONAM-31 Z Grade サービス講習会 in 横浜ベイサイドマリーナ

優れた技術力と革新的なアイデアのもと、トヨタマリンは日々オーナーに独創的な一艇を提案し続けている。そして、全国にある約50社の販売店及び約80社のサービス店と契約を交わし、幅広いエリアでサポート体制を整えている。今回は全国のトヨタマリン販売店に所属するスタッフ向けに開催されたPONAM-31 Z Gradeの講習会を通し、安心・安全なマリナライフに寄与するトヨタマリンの活動、その一端について触れていく。



▲ TDS(トヨタドッキングサポート)を使用した離着岸のデモンストレーションも行われ、桟橋では様々な質疑応答が交わされていた。

◀ Z Gradeに新たにオプション採用されたアンチローリングジャイロを体感することもでき、こちらにも参加者から高い評価を受けていた。

安心・信頼を繋ぐ販売店ネットワーク

今回のPONAM-31 Z Gradeの講習会は横浜ベイサイドマリーナにて開催された。会場では日本各地から参加したスタッフ同士の情報交換も頻繁に行われると共に、PONAM-31 Z Gradeをメンテナンス・サポートしていくために必要な様々な確認事項が共有された。また、PONAM-31 Z Gradeに搭載されたTDS(トヨタドッキングサポート)やアンチローリングジャイロのデモンストレーションも行われ、同船の様々な機能に対する見識を深めていた。こうした講習を受けたスタッフたちによって国内に幅広く構成されるネットワークがあることで、オーナーはより効果的なサポート・メンテナンスを受けやすくなり、購入後の安心・信頼へと繋がっていくのだ。

全国のトヨタマリン販売店一覧をチェック



会場ではクルマづくりの際に発生した端材・廃材を活用した「TOYOTA Upcycle Gear」の展示も行われ、質感の良いペンケースやカードケースは販売店スタッフの興味を惹きつけていた。



今回の講習会は神奈川県横浜市中区で開催。集合場所となったBayside Lounge。



今回の講習会には、トヨタマリンと契約を結んでいる販売店から、ポナムシリーズをはじめ、様々なプレジャーボートの操船、整備、維持運用に携わる経験豊富なスタッフが全国から集まった。



参加者は大きく3グループに分かれ、試乗会の他にPONAM-31 Z Gradeの詳細な仕様や、PONAM-31 X Gradeとの相違点に関する説明が行われた。特に、Z Gradeで新たに設定されたジャイロの効果や使用方法、メンテナンスの説明など、販売後のサポートに関するサービス情報なども共有された。

別室ではPONAM-31 Z Gradeの特徴的な配線回路や搭載エンジン、ドライブなどのメンテナンスに関わる技術的な講習も行われ、開発にまつわる苦労話、整備の勘どころや注意点、活発な質疑応答など、ポートに関するプロフェッショナルとしてハイレベルな情報交換を行っており、有意義な時間となっていた。

販売店スタッフが感じた PONAM-31 Z Gradeの魅力

ジャイロの
取り付け位置
が効果的

サービス
マニュアル
が丁寧

内装の
完成度が
高い

艀装が
しやすい設計

ジャイロが
非常に効果的

31ft艇への
ジャイロ搭載

アルミハルの
乗り味

操船支援
システムの
高い精度



(株)キーサイド
白石さん

(株)キーサイド
福留さん

(株)キーサイド
松原さん

(株)キーサイド
岩瀬さん



本橋発動機(株)
原田さん

ニックスマリン
コーポレーション(株)
工藤さん

(株)ユニマット
プレシャス
田中さん

(株)ユニマット
プレシャス
山口さん

外観・内装ともに
デザインも魅力

エンジンルーム
が広く、整備も
しやすい

清潔感があって
居住性も高い



(株)平野ポート
中村さん

(株)平野ポート
平澤さん

(株)平野ポート
山口さん

サロンをはじめ、
内装にも高級感
がある

エンジンの
信頼性が高い



(株)広島ベイマリーナ
花野さん

(株)広島ベイマリーナ
上野さん

取材協力

横浜ベイサイドマリーナ
〒236-0007
神奈川県横浜市中区白帆1
TEL:045-776-7590



美しい景観と豊富な魚種に恵まれた 日本海屈指の遊びの拠点



福井県三方郡にあるマリンポート美浜。魚影豊富な若狭湾に面し、釣りやクルージングなど、様々なマリンレジャーを楽しめる。

造船業で培った高い技術力で 一貫したサービス体制を構築

マリンポート美浜は1988年に福井県三方郡にオープンしたマリーナで、運営元の大谷造船工業はFRP船舶の建造をはじめ、ボート販売、艇置、メンテナンスなど幅広いマリンサービスを手掛けている。大谷造船工業は明治35年に大谷造船所として創業

以来、120年以上に渡り造船業に携わってきた老舗企業で、近年では18mの電池推進船の建造実績もある。造船業で培った高い技術力は同社の強みの一つとなっており、マリーナでは日常のメンテナンスから船体の修理まで、熟練スタッフによる一貫したサービス体制が構築されている。マリーナは魚影の豊富な若狭湾に面し、釣り場へのアクセスも良好で、青物、真鯛、アオリイカ、

アマダイなど、一年を通して様々な釣りを楽しめる。周辺には「北陸のハワイ」と呼ばれる水島やアンカリングして上陸可能な天然ビーチなど、クルージングスポットも豊富にあり、若狭湾でのマリンレジャーの拠点としては指折りのマリーナである。また、敷地内には2箇所のメンテナンス工場を完備し、2022年には日本海側で初となる45t自走式船舶用ホイストを導入している。



大谷造船工業株式会社

〒919-1124 福井県三方郡美浜町早瀬14-51
TEL:0770-32-0348 FAX:0770-32-0370
<https://wakasa-ozmarine.com>



1. 2022年には日本海側で初となる45t自走式船舶用ホイストを導入。2. 充実した設備でオーナー艇を安全に揚降してくれる。3. 中部や関西圏からのアクセスも良好で、連日多くのオーナーで賑わいを見せている。4. 自社メンテナンス工場も完備。トヨタマリンの指定工場にもなっており、技術力は折り紙付きだ。5. 敷地内に2ヶ所あるメンテナンス工場では整備のみならず船体修理も可能。マリーナで一貫したサービスを受けられるのは、ここに船を置く大きな利点だ。6. マリーナには国産艇や輸入艇など、様々なタイプのボートが並んでいる。7. 取扱う艇種が多い分、スタッフのメンテナンス経験も非常に豊富である。

メンテナンス経験も豊富なマリーナの 代表が語るポーナムの魅力とは

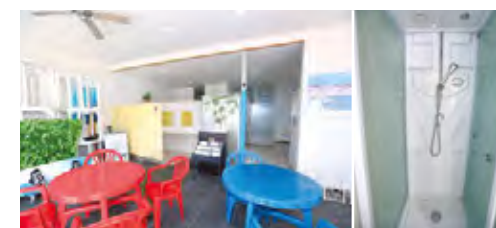
今回はマリンポート美浜を運営する大谷造船工業の代表を務める大谷健一郎氏にポーナムシリーズの印象をお伺いすると、「アルミハルは波切が抜群で、走行時の安定感も非常に高く、乗っていて安心感があります。波あたりの良さについてはオーナー様からも高く評価されています。」と、アルミハルの優れた凌波性や走行時の安定性について、好印象を得ていると語ってくれた。続いて、ポーナムシリーズのメンテナンス性に関

して尋ねてみると、「トヨタマリンさんはメンテナンスをしていく上でのサポート体制が非常に整っていると思います。エンジンに関しても大きなトラブルらしい話を聞いたこともないですし、点検やメンテナンス時に問い合わせをしても対応がとてもの確なため、作業をスムーズに進められる印象があります。エンジンルームも広いため、点検やメンテナンスがやりやすい設計になっているのも流石だと思います。」とポーナムシリーズを支えるサービス体制と日々のメンテナンス性についても好評価を頂くことができた。最後にテクノロジー（操船支援システム）に

ついてお聞きすると、「TVASやTDAはオーナー様からもとても好評です。釣りを楽しむオーナー様からはTVASがあるとすごく釣りがし易いという声も頂いております。」と操船支援システムについて、オーナーからも高い支持を得ていることが窺えた。自身も造船業を営み、これまで様々な艇種を細部に至るまでメンテナンスしてきた大谷健一郎氏からも、ポーナムシリーズに注ぎ込まれた高い技術力と、それらを支える高品質なサービス体制を評価する声を頂くことができた。



工場に併設するクラブハウスでは若狭湾を望みながらボート購入やメンテナンスに関する相談をすることもできる。



クラブハウス1階には清潔感のある会員専用シャワー&トイレも完備。個室シャワーもあり、ゆったりと利用することが可能。



マリーナから車で3分ほどにある人気店「味一休」では、若狭の旬の食材を使った日本料理が楽しめる。鰻は活魚で仕入れたものを店内で捌き、国産の厳選した炭によって絶妙な火加減で皮目をパリッと仕上げている。



大谷造船工業の代表を務める大谷健一郎氏。長年造船業に携わってきた船のプロフェッショナル。豊富な経験に基づく知識と技術力で安心・快適なマリンライフをサポートしてくれる。



PONAM-31に追加された「Zグレード」は「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、利便性とスタイリッシュさを両立する新装備を数多く採用。デザイン面ではクルマのドレスアップパーツを世に送り出す「MODELLISTA」とボートでは初めてコラボレーションし、先進かつ優雅な佇まいを演出。また、船内にはオプションでWi-Fi設備をビルトインすることが可能で、海を眺めながらの開放的なサードプレイスのワークスタイルを実現。室内空間は誰もが船内で寛げる快適性が追求され、「withコロナ」の時代でも安心して利用できるよう、トヨタ車両にも多く採用される「ナノイーX」をポーナムシリーズとして初搭載（標準装備）している。

PONAM-31は「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感できるボートで、走行時には抜群のスピードはもちろん、高い安定性も発揮し、スポーティーな走りを存分に楽しめる。サロン入口には3枚扉を採用し、従来よりもワイドな開口部の実現により、サロンとデッキの一体感を感じられる。Xグレードのサロンはネイビーカラーをアクセントにレザー調で統一され、ソファやテーブルの高さを低めに抑えることで、広がりのある

室内空間を演出。他にもオプションで安心かつ正確な離着岸ができるトヨタドockingサポートも搭載可能となり、これまで以上に操船の負担を軽減してくれる。まさにスポーツユーティリティークルザーの名に相応しい1艇となっている。

全長／全幅	10.57m／3.20m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 2基
最高出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名（フライブリッジ 5名）
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	Xグレード 45,870,000円 Zグレード 49,940,000円





PONAM-35swは外洋での本格的なフィッシングにも対応できる優れたフィッシング性能に加え、ラグジュアリーなサロンをはじめとした高い居住性を兼ね備えたモデルだ。クルージングのシーンでは爽快な加速とアルミハルによる安心感のある乗り味で、海上を走る歓びを存分に味わえる。サロン奥に配置されたギャレーにはシンク、電子レンジ、調理スペースの他に、大容量冷凍・冷蔵庫が設置され、ご家族や仲間同士でのボートステイも存分に楽しめる。他にも、トヨタドライブアシストとトヨタバーチャルアンカーシステムを装備していれば、既存艇にもトヨタドockingサポートを追加装備することが可能。走りと居住性を両立したボートに新たな操船支援システムを搭載することで、より快適なマリンライフを楽しませてくれる。

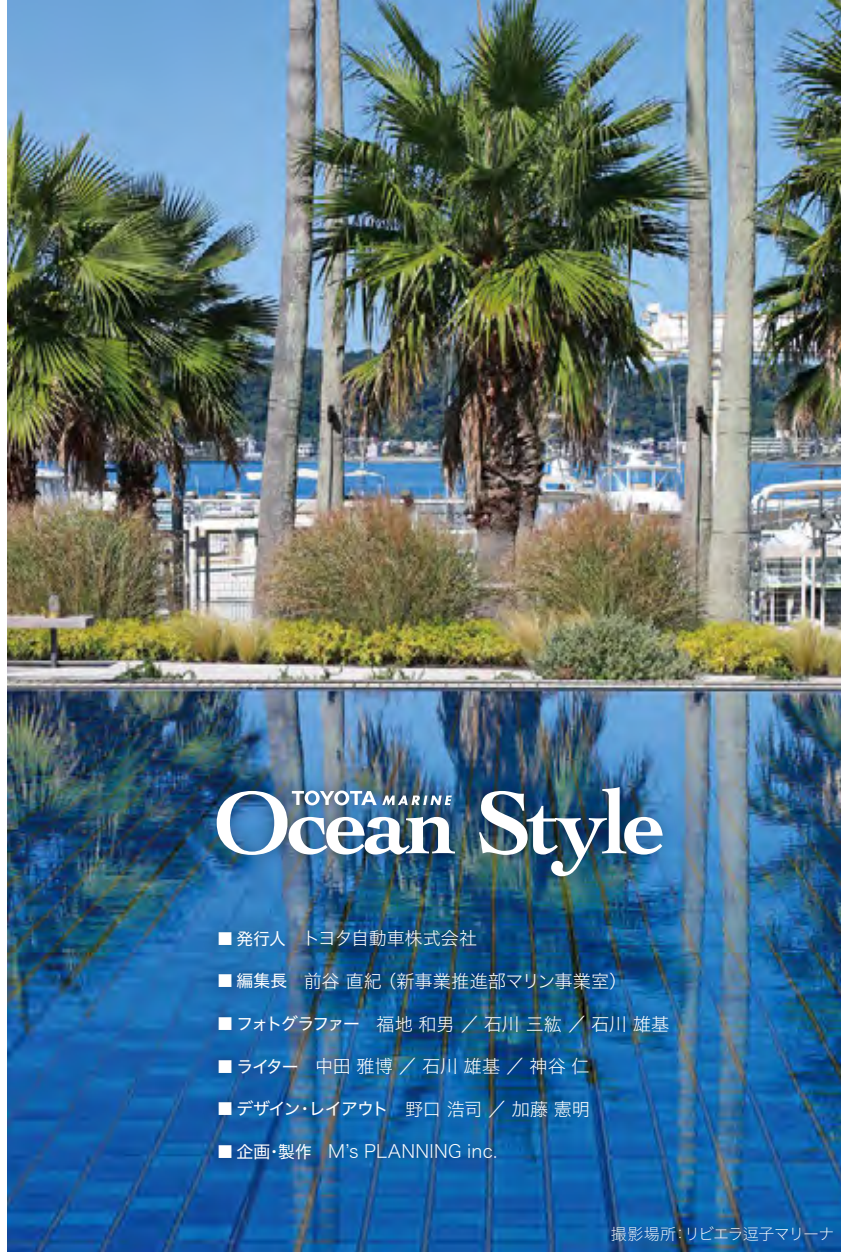
全長／全幅	11.95m／3.94m
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
排気量	4,461cc × 2基
最高出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	850リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名（フライブリッジ 5名）
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	※現在注文を停止しております。



PONAM-28VはFRP、アルミ材、カーボン繊維の3種類をバランス良く使用したトヨタハイブリッドハルを採用し、従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感と凌波性を実現するだけでなく、船体重量の軽量化にも成功している。さらに、1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVASには作動中の充電機能を追加しており、使用時間が従来の約2倍に延長されたことで、これまで以上に長時間のフィッシングにも対応可能となった。船体のデザインはカーデザインで採用される複雑な3D曲面により、立体的なフォルムと曲線美を追求し、美しいデザインを実現。他にも、キャビン内には自動車で培った技術に応用した業界最高レベルの除湿機能付きマリンエアコンを搭載している。

全長／全幅	9.14m／3.16m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 1基
最高出力	191kW(260PS) × 1基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッド ハル
燃料タンク容量	330リットル
清水タンク容量	56リットル
定員	12名
航行区域	平水、限定沿海、沿岸
本体メーカー希望小売価格(税込)	Sグレード 23,980,000円 Xグレード 30,800,000円





TOYOTA MARINE × muta MARINE



コラボポロシャツプレゼント

アンケートにお答え頂いた方の中から
抽選で3名様に

TOYOTA MARINE × muta MARINE
コラボポロシャツをプレゼントいたします。

応募締切: 2024年5月31日(金)まで

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートに
回答する

所要時間: 約4分



※ご回答頂きましたアンケート内容に関しましては、今後の編集・企画立案の際に参考にさせていただきます。また、ご入力頂きました個人情報については読者プレゼント発送のほか、当社が個人の内容を特定できないような統計的な資料を作成する際に利用させて頂く場合もございます。個人情報に関しましては当社にて厳重に管理し、この目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。



be free!



PHOTO: PONAM-31 Z grade ※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含むことがあります。

Sport Utility Cruiser

PONAM-31 *X*Grade

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン営業所 ☎ 0120-532-451 www.toyota.co.jp/marine/

TOYOTA
MARINE



トヨタマリン刊行のマリンライフが楽しくなる情報をまとめた季刊誌「Ocean Style」



Play!

海の楽しさは、無限だ。

一人ひとりの海の楽しみ方に応えるための、
テクノロジーとデザイン。

そのパフォーマンスを体感した時、
あなたの海の歓びはきっと広がっていく。

フィッシングにとどまらない、
海を楽しみ尽くすための贅沢な一艇。

Premium Sport Cruiser
PONAM-28V

カタログ請求はこちら



◆Sグレード：本体価格 23,980,000 円 (税込) / Xグレード：本体価格 30,800,000 円 (税込)

※写真はSグレード、オプション装着艇。※写真には撮影用小輪等を含むことがあります。

TOYOTA MARINE

TOYOTA
MARINE



電子書籍版
Ocean Style



詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。
トヨタ自動車株式会社 マリン営業所

☎ 0120-532-451 | www.toyota.co.jp/marine/

海での感動とマリナライフを素敵に広げるNTP2つのマリーナ



NTP マリーナりんくう



中部圏トップクラスのサービスセンターは、
大型艇の修理、メンテナンスからカスタムまで対応。
お気軽にご相談ください!!



〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1
TEL.0569-35-7200

www.ntp.co.jp/marina/rinku



70ftクラスを4隻収納可能!



マリーナハウス



クラブハウス/メインサロン

BBQコーナーを設置



レストハウス



修理工場



NTP マリーナ高浜



名古屋中心部から車で45分。
家族や気の合う仲間たちと
のんびり快適なマリーナライフを。
レンタルボートクラブ、ボート免許スクールも実施!!

〒441-1325 愛知県高浜市青木町1-1
TEL.0566-54-5300

www.ntp.co.jp/marina/takahama



ボートの事なら販売・保管・メンテナンスまで全てお任せください!!



空から海へアクセスできる、
新しいマリナライフの提案



『家族と楽しむ海』がコンセプトの
アットホームなマリーナ

新規艇置 契約募集中!

※マリーナりんくうにおきましては現在(陸上保管)の募集を一時中止させて頂いております。

年間保管料の一例

例 りんくう 45フィートの場合
年間保管料(海上) (税込み)
※特約付 **1,776,500円/年**
年間保管料(海上:一般)
2,090,000円/年

例 たかま 35フィートの場合
年間保管料(海上:B棧橋) (税込み)
726,000円/年
年間保管料(陸上)
1フィート **11,000円/年**

※船台料金別途。※陸上保管は実測長にて算出。※上記料金はあくまでも参考です。艦装によって変更あり。

◎上記以外に各入会諸経費が必要となりますので、
詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。

特選商品艇多数あり! 詳細等NTPマリンプラザ
ショールームページをご覧ください!!

NTP マリナ RINKU NTP マリクラブ

会員募集中!

オーナー感覚でマリナライフを楽しむ!レンタルボートクラブの
ワンランク上のステータスを追求した会員制クラブ
NTP マリクラブ事務局
☎ 0569-35-7820 (担当/永田・大竹)

NTP ボート免許教室

受講生募集中!

1級、2級、特殊小型(水上オートバイ専用)の3コースをご用意。
一例(2級) **¥84,000**
NTP ボートライセンススクール事務局
☎ 0566-54-5301 (担当/保科・杉浦)

NTP マリナ Takahama NTP レンタルボートクラブ

会員募集中!

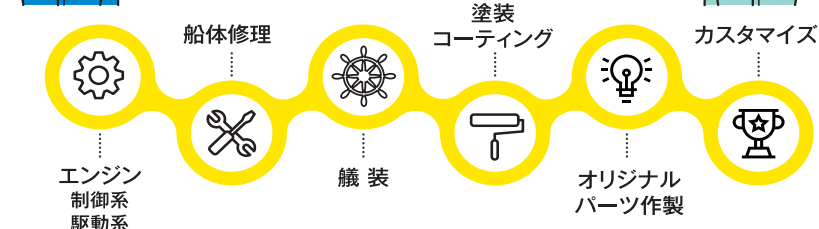
いつでも、乗りたくなったらレンタルボート!ボート免許取得者で
18才以上の方ならどなたでも入会可能な会員制クラブ
NTP レンタルボートクラブ事務局
☎ 0566-54-5300 (担当/大岩・榊原)

MARINE SERVICE

あなたのニーズをかなえる、
テクニカルメニュー



NTP MARINE SERVICE CENTER



マリンサービス

NTPマリンサービスセンターは、様々な艦装対応、船体修理を始め、オリジナルパーツからカスタマイズまで、高い技術力と内製体制でオーナー様のご要望にお応えします。

名古屋方面からの
アクセス良好!





uno stile senza compromessi
per una vita plu' bella e creativa

Official Store location

[muta ONLINE STORE] www.muta-japan.com [muta TOKYO JAPAN] 03-7215-0348 [muta SALONE] 02-6548892 [muta MARINE TOKYO] 03-7705-4698 [muta MARINE OKUHAMA] 045-119-4682 [muta MARINE KUSHI] 0457-39-5589
[muta MARINE RINKU] 0569-38-1266 [muta MARINE BIVARO] 0775-35-4445 [muta MARINE NIOIO] 075-225-3330 [muta MARINE USAKA] 05-4885-9184 [muta MARINE HIROSHIMA] 082-477-6660 [muta MARINE FUKUOKA] 092-723-0018
[muta MARINE OMIYAWA] 076-768-7088 [muta MARINE BOLLINA DEL MARE] 076-767-9026 [muta MARINE GOLF PALLAZZO] 05-2220-4498 [muta MARINE GOLF NIIGASHI TAKASHIMAYA] 025-281-6300 [muta MARINE GOLF SHINJUKU TAKASHIMAYA] 03-5990-2888
[muta MARINE GOLF NAGOYA MATSUZAKAYA] 052-264-2798 [muta MARINE GOLF NAGOYA TAKASHIMAYA] 052-555-8874 [muta MARINE GOLF THE MODO] 052-777-5793 [muta MARINE GOLF KYOTO TAKASHIMAYA] 075-252-7964 [muta MARINE GOLF OSAKA DAMARU SHINSABASHI] 06-6252-5001
[muta MARINE GOLF OSAKA TAKASHIMAYA] 06-6532-9874 [muta MARINE GOLF OSAKA] 06-6226-8855 [muta MARINE GOLF FUKUOKA] 092-715-0018 [muta GLOBALE KANAZAWA] 076-264-8881 [muta GLOBALE KOBE] 078-232-9988



www.muta-japan.com

muta JAPAN co.,ltd
Copyright© 2015-2024
muta MARINE ALL Rights Reserved.
LOCATION : NTP MARINA RINKU



目的
地は、
次の
自分だ。



ALPHARD



道なき道を行く人へ。VELLFIRE

START YOUR IMPOSSIBLE 

後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

【アルファード】Photo:Executive Lounge(E-Four)。ボディカラーのプレシスレオブロンド(4Y7)はメーカーオプション。内装色のニュートラルベージュは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。オプション装着車。【ヴェルファイア】Photo:Z Premier(2WD)。ボディカラーはブラック(202)。内装色のサンセットブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。オプション装着車。●写真は合成です。●本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。ボディカラーおよび内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。